

JFEシビル九州システム建築協力会が総会

藤井社長「売上高1000億円を目指す」

ケンコーホーム、南国殖産が新加入

JFEシビル九州支店(支店長・米倉真也氏)は24日、山口県湯本温泉の大谷山荘で、施工代理店で構成する「JFE九州システム建築協力会」(会長・田中千穂タナカ鋼建工業社長)の定期総会を開催した。JFEシビルになって数えて15回目で、山口県での開催は初めて。田中会長の「あつせやあつせやいこいこい」との発案で、先の日露首脳会談が行われた格式があり、なおかつ趣のあるホテルで、情報交換を行い親睦を深めた。

定期総会には、九州(崎県、南国殖産、鹿・沖縄)から会員企業の(児島県)が増えて、会Eシビルの藤井善英社とが報告された。また、長ら関係者約30人が参加。新年度の事業計画や予算案を採択したほか、新規会員が2社(ケンコーホーム)加入した。



挨拶する藤井社長

「この業界でメシが食えるようになって約3年が経過しました。それまでは本当に悲惨な状況で、仲間が集まれば受注単価が安いといった話ばかり。しかし

今は技能者不足、若い人材が集まらないといった話題が中心です。話は変わりますが、私の会社は福岡県八女市ですが、伝統工芸の産業が年々衰退しており、今までの職種の会社が喘いでいる。それに比べて我々の業界はまだまだ望みがある。しっかりと頑張っていくましよう」と呼びかけた。

016年度は受注・売上とも、計画を大幅に上回る見通しで、5年連続の増益、最高益を上げることができそうです。今年度は3カ年計画の最終年度です。なんと売上高1千億円を目指して頑張りたい。シビルの事業計画を達成するのは、システム建築事業が予定通りの成績を上げられるかにかかっています」と強調。

0億円に近づいており、今年度の目標は225億円にハードルが上がっています。これを達成できれば、1千億円に近づくといいか、超えることができると思っています。協力会社の発展とともに、我々は成長していきたい」と語った。

米倉支店長は、九州支店の収益計画について「16年度は受注・売り上げとも計画を上回る見通しです。今期は受注38億円、売り上げ37億円を目指していきたい。過去5年間の実績を品別にみると、14年度に各品種(①デバイス販売②金属材料③メタルワーク)とも大きく落ち込んだが15年度、16年度と数字を積み上げてきました。今年度は大きな飛躍を目指したい」と述べた。

中国システム建築協力会も総会

新会長に西村氏(長沢建設)



挨拶する西村新会長

JFEシビルは19日、岡山市内ホテルでJFE中国システム建築協力会の2017年度定時総会を開催し、施工協力店トップや営業担当約30人が参加した。任期満了に伴う役員改選期が行われ、新会長に西村創之介(長沢建設社長)が新会長に就任した。

97億円だったが、経常利益は目標10億円に対し15億円超えできたのは皆様のおかげ」と礼を述べた。

自社施工分も積極的に取り組んでいく。皆さんにJFEシビルを使っていたら良かった」と意欲を語った。

中国地区ではシステム建築関連で10億円規模の売上高を継続的に稼ぎ出す体制づくりを進めており、今年度の業績は前期を倍増する計画で、会員各社と連携し受注増につなげる構え。地区正会員は28社と前年度から入退会の変動はなく、さらなる会員獲得を目指す。また、会員各社がシステム建築の受注を目指す「1社1棟&1件受注活動」の地区表彰が行われ、10社の代表に西村新会長が感謝状を手渡した。